



第108回全国高校野球選手権
夏に挑む
兵庫大会

① 中 ①

浜坂

投捕 山本 悠陽③ 夢が丘 坂
小林 旺龍② 浜 坂
杉岡 真聡② 夢が丘 坂
中尾 健② 夢が丘 坂
村尾 翔生② 夢が丘 坂
小椋 春太③ 夢が丘 坂
浜田 暖大② 浜 坂
池成 敬斗② 浜 坂
岡田 哲兵② 浜 坂
中家 莉斗① 浜 坂
沢田 天獅郎① 浜 坂
田中 山本 雄太
▽部長 山村 陽介
▽監督 森本 陽介
(メンバー表は守備位置、氏名、学年、出身中学の順、◎は主将)

2年ぶりに単独で出場する浜坂。今大会は、一昨年の大会や村岡との合同チームで出場した前回大会に続く3年連続の初戦突破と、2勝を目指す。三田学園に3-22と大敗した春季大会を教訓とし、失策を減らし、守備から良いリズムを作って、攻撃につなげる試合展開を思い描く。

エースで主将の山本は、打たせて取るピッチングが持ち味。安定感がある直球

全員で勝ちにいく

選手は少ない」としながらも、俊足や強打、好守など選手の豊かな個性を生かした戦術を構想する。

冬はウエイトや体幹トレーニングに注力し、基礎体力の向上を図った。成果は攻守に現れつつあり、守備力が徐々に高まっている。

初戦の相手は甲子園出場経験があり、総合力の高さや強力打線が特長の加古川北。森本監督は「一体感を持って全員で勝ち取ったと言えるゲームにしたい。相手に萎縮せず、全身全霊で立ち向かってほしい」と選手を鼓舞する。

夏大会出場は3度目で経験豊富な山本は「苦しい状況でも、引っ張っていく意識を絶対忘れずに。自分から声を出してチームを良い方向に持っていきたい」と意気込んだ。

(安部航太)